

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第61号

## ななえ古写真物語 VOL. 61

### 仁山スキー場からの遠望

「峠下村絵図の指定によせて」

昭和40年代？

仁山・峠下地区

今でも営業を続けている仁山高原スキー場。函館から七飯方面に向かって車を走らせていると、特に今時期は雪が積もっていることもあり、森林部分とスキーコースとの境が明瞭となり、夜はナイターの照明が暗い山々の中でも、燦然と輝いている様など、個人的に好きな景色でもあります。

私が物心ついた時には、すでにスキー場として運営されており、おそらく、初めてスキーを滑った場所でもあると記憶しています。一人乗りのリフトがやけに怖かったこと、リフトを降りた後に、ふもとで想像していたよりも、急だった斜面に恐怖を覚えたことが印象に残っています。

仁山でのスキー場経営の歴史について少し調べてみたところ、どうやら、昭和20年代初めには、ロープ塔が設置され、昭和30年頃にはリフトが設置される本格的なスキー場になったようです。近くに国鉄（現在のJR）仁山駅があったことから、駅からスキーを担いで山まで歩くお客もいたそうです。また、ジャンプ競技用のジャンプ台もあったというのですから驚きです。

この写真は、おそらく昭和40年代に仁山高原スキー場から、大野平野を臨んで撮影されたもので、眼下にはリフトを走らせるための鉄塔が間隔をあけて、並んでいるのがわかります。中央部には、現在も仁山や峠下地区に広がる水田地帯が雪に覆われ白い大地となっているのが見てとれます。左側に縦走する黒い線は、国道5号でしょう。その沿道に建物が集まっている様子がうかがえます。



nanae historical  
museum collection

ところで、この仁山や峠下地区を描いた「峠下村絵図」とよばれる絵図が、新たに七飯町の指定文化財として登録されました。これまで当館で大切に保管され、紆余曲折（いろいろな手続きという意味で）を経て指定されました。

江戸末期に描かれたと考えられるこの絵図は、現在の大沼トンネル付近を中心に、上部には駒ヶ岳と大沼・小沼・じゅんさい沼周辺を、下部には峠下や仁山地区の道路や田畑の利用状況、神社や寺、庚申塚といった当時の生活の様子を知る建造物が描かれています。また、今は使われなくなった字名が記され、各字間の里程が明記されているなど、七飯町の江戸時代の様子を知る貴重な資料であるという理由から指定に至ったものです。

2月19日まで、当館ではこの絵図を展示した特別展「描かれた“ななえ”」を開催しています。是非ご来館いただければ幸いです。



## 5日

「ななえの道と文化財」というタイトルで、夜の博物館後期講座「ナナエガク」の第1回講座が行われました。

学芸員が、七飯町に残る古道をスライドで紹介しながら、どの様な理由で敷設されたのか、そしてその沿道に現在も残る文化財の数々を解説しました。また、当館資料の中から、古道を描いている絵図を実際に広げ、鑑賞してもらいました。参加された方々は、貴重な資料を前に、興味津々な様子で楽しんでいました。



講座の様子



そばをのしています。

## 22日

ジュニア探検クラブでは、「年越し蕎麦を打つ」と題し、そば打ちと餅つきをしました。当館友の会の指導で、午前中にそばを打ったのですが、なかなか素敵な手さばきで打てたものの、最終的には麺が太かったり、硬かったりと大変だったようですね。またチャレンジしてくださいね。

午後からは、臼と杵を使って餅つきです。一年の締めくくり・・・ということで、杵の重さにちょっと戸惑いながらも、一生懸命ついていました。

打ちたてのそば。つきたての餅はおいしかったかな？



ちょっと、麺太くない？



つきたての餅は、おいしいかい！？

## 23日

ふぁみりーでいみゅーじあむで、臼と杵でついた餅を使って、あんこ餅を作りました。蒸かしたてのもち米をちょっとつまみ食した後に、餅つきを開始！ 杵が重すぎる子には、お父さんやスタッフがサポートしましたが、みんな頑張っていました！

つきたてのお餅には、あんこをくるんだり、きな粉をまぶして食べました。絵本の読み聞かせもありましたが、食べることに一生懸命な子達が多かったかな？



おいしかったかな？

## 2月の予定

1	金	特別展開催中！
2	土	
3	日	ふぁみりーでいみゅーじあむ
4	月	
5	火	
6	水	夜の博物館
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	建国記念日
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	初心者のための刀剣講座
17	日	
18	月	
19	火	特別展CLOSE
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	ジュニア探検クラブ
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	

2月の休館日はありません。

### 描かれた“ななえ”開催中

平成25年1月15日。七飯町に「峠下村絵図」という新たな町指定文化財が誕生しました。そのお披露目もかねて、当館では現在、特別展「描かれた“ななえ”」を開催中です。2月19日までの開催ですので、是非ご来館いただき、新たな指定文化財を見て頂きたいと思っております。



### 編集後記 ~tawagoto~

新年明けましておめでとうございます。本年も七飯町歴史館をよろしく願い申し上げます。

今年はまだ、昨年ほどの大雪ではないようですが、冷え込みが厳しいような気がします。当館でも暖房を動かしてはいるのですが、水を吸い上げる木のように、足元から冷気が体を伝ってくる感覚があります。冷え性の方は、ことさら寒いと感じると思いますので、ご来館の折には、特に気をつけて頂ければと思います。（やまだひさし）

Richard ~ピチャリ~ 第61号

平成25年1月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp